消費生活ナビ

新生活スタート後に気を付けたい消費者トラブル

事例①　知らない事業者がいきなり！？訪問販売トラブル

◎アドバイス

その場ですぐに契約せず、不安や不審な点があれば家族や身近な人、管理会社等に相談しましょう。

事例②　新生活でも気をつけたい、もうけ話トラブル

◎アドバイス

- うまい話に飛びつかないようにしましょう。
- SNS広告や知り合った相手からの「簡単に稼げる」という言葉をうのみにしないようにしましょう。

事例③　ネット回線などの通信契約トラブル

◎アドバイス

- 勧誘してきた事業者の名前を確認しましょう。
- 料金プランやサービス内容を書面でもしっかり確認し、説明を受けましょう。

不安や不明な点は、ひとりで悩まずご相談ください。

問消費生活相談室　毎週火曜日　午前10時～午後4時
☎84-1233

商工会伝言板

商工会員を募集しています

加入のメリット（一例）

- 経営、税務、労務、IT等の各分野の専門家による無料相談・指導が受けられます。
- 国・県の融資制度や町利子補給金など、低利な事業資金に関する相談・あっ旋が受けられます。
- 持続化補助金をはじめ各種補助金の申請サポートが受けられます。
- 事業計画書作成のサポートなど、新しい事業展開への支援が受けられます。
- 無料でホームページが開設できます。

加入資格　町内で事業を営んでいる商工業者の方
加 入 金　3,000円
月額会費　個人：1,000円
有限会社等：1,300円
株式会社：1,500円
資本金1,000万円超の法人：2,000円～

申請商工会　☎82-0434

地域安全ニュース

災害発生時の心得 ～むやみに移動を開始せず、落ち着いた行動を～

大規模な災害が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。

多くの人が一斉に帰宅を始めると、火災や建物からの落下物などにより負傷する恐れがあり危険であるほか、救助・救急活動の妨げとなります。

むやみに移動を開始しない

- 身の安全を確保し、職場や集客施設等の安全な場所にとどまりましょう。
- 災害用伝言サービスにより、家族の安否などを確かめましょう。
- 交通情報や被害情報などを入手しましょう。

日ごろから準備しておきたいこと

- 家族などと安否確認の方法、集合場所を話し合っておきましょう。
- 職場などに飲料水や食料、携帯ラジオ、地図、運動靴、懐中電灯などを用意しましょう。
- 帰宅経路の災害時帰宅支援ステーション（コンビニエンスストア、ガソリンスタンド）の場所を確認しておきましょう。

徒歩帰宅者支援の取り組み

千葉県を含む九都県市では、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ガソリンスタンドなどと徒歩帰宅支援に関する協定を締結しています。

これらの店舗では、災害発生時に水道水やトイレの提供のほか、道路交通事情などを可能な範囲で提供していただけます。

こうした店舗には「災害時帰宅支援ステーションステッカー」が掲示されていますので、日ごろから帰宅経路の店舗の場所を確認しておくと安心です。

※九都県市：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市

災害時帰宅支援ステーション ステッカー

コンビニエンスストア

県内ガソリンスタンド